

三条北ロータリークラブ週報 No. 9.10



フランチェスコ・アレツォ RI 会長

第 2560 地区：室賀信宏ガバナー

三条北 RC：羽賀一真 会長

「よいことのために手を取りあおう」

～UNITE FOR GOOD～

「ロータリーで善の循環を」

「初心にかえって新しいことへの挑戦」



会長：羽賀一真 幹事：森 宏 SAA：齋藤孝之輔

●例会日：火曜日 12：30～13：30 ●例会場：三条ロイヤルホテル Tel. 0256-34-8111

9月16日

◆本日の行事：「基本的教育と識字率向上月間」

◆本日の出席：47名中30名

◆先々回の出席率：47名中38名 80.85%
(前年同期 79.25%)

◆本日のゲスト：

三条市立図書館 館長 岡 葉子 様

◆本日のビジター：

三条南 RC 田代 徳太郎 様

◆先週のメイクアップ(敬称略)：

9/9 指名委員会 佐藤義英、米山忠俊、石川勝行
落合益夫、星野義男、金子太一郎、外山裕一
石川一昭、松山浩仁、森 宏、武田恒夫
羽賀一真、齋藤孝之輔

9/10 市内 4RC 合同社会奉仕活動打合せ
福岡信行

*本日の配布書類等

・ロータリーの友 9月号
・月信 9月号(閲覧) ・週報 No.1809(HP)

9月30日

◆本日の行事：「9/25 地区大会記念ゴルフ大会

・9/27 第4分区 IM 出席振替」

◆本日の出席：46名中29名(内記帳3名)

地区大会ゴルフ12名・IM 22名

◆先々回の出席率：47名中29名 61.70%
(前年同期 79.25%)

◆本日の記帳：(敬称略)

三 条 RC 中村順一、丸山行彦、白鳥 賢
白倉徳幸、渡部 宏、齋藤弘文
高橋俊樹、小越憲泰、中村和彦

三条南 RC 佐々木常行、松崎孝史、丸山 智
渡辺俊明、峰島由紀子

会長挨拶：羽賀一真 会長



みなさん、こんにちは。まちやま館長の岡葉子様、三条南 RC の田代徳太郎様、本日はようこそお越しくださいました。

さて、お客様がいらっしゃる時にこのような話をするのは恐縮ですが、大変悲しいお知らせが入ってきました。ステーキさる一んの石丸進会員がご逝去されたとのことです。胃癌の病気療養中だったと聞いております。石丸さんは、たとえロータリーに復帰できなくても、せめて社会復帰はされると思っていたのですが、残念ながらその思いはかないませんでした。

僕が子どもの頃、栄町のステーキさる一んに、よく親に連れて行ってもらいました。まだ子どもですから、

普段はハンバーグを食べていたのですが、親からひと口もらった初めてのステーキは、禁断の大人の味がしたことは今でもはっきり覚えています。

大人になってロータリーで石丸さんと知り合うことができました。石丸さんに、「さる一ん三条店は、いつも大繁盛で車も満車なんで、もっと広いところに移転したらどうでしょう？」と聞いたことがあります。そしたら石丸さんは「いや、混んでるのがいいんだよ。」とおっしゃっていました。なるほど、お客の心理をつかんだ面白いビジネス哲学だなと思いました。

そして、今から10年以上も前でしょうか、ロータリーの親睦旅行で、石川県の山代温泉に行った時に、陶器製作(お皿を作る)体験をしました。そのお皿に石丸さんが、さる一んのロゴであるブルドッグのcock



さんの絵を描いた
のです。僕は驚い
て、「え！？石丸



さんの絵、ものすごく上手なんですわ！」と言ったところ、石丸さんは「上手も何も、このロゴは俺が自分で直接デザインしたものだからねえ。」と言われ、2度驚きました。今では石丸さんの遺作となってしまったロゴですが、さる一んや贅に行き見て、石丸さんを思い出してステーキをいただこうと思います。

今日の午前中には、当クラブを引退された坂内康男さんから仕事の電話がありました。「石丸さんが亡くなったのは驚いたなあ…。実は俺が石丸さんにゴルフを教えたんです。石丸さんは年間100回以上もゴルフをしていて本当に一生懸命で、倒れるまでゴルフをしてたんだよなあ。」とおっしゃっていました。

そんな石丸進さんのご冥福を心からお祈りし、会長のあいさついたします。

幹事報告：森 宏 幹事



・地区米山記念奨学委員長より、

「地区大会会場における米山記念奨学生お手伝い募集」

日程・会場：10月25日(土)ホテルイタリア軒

26日(日)ANAクラウンプラザホテル新潟

・燕 RC より、「第4分区IM開催の御礼」

・三条 RAC より、「10月第一例会のご案内」

日時：10月2日(木)19:30～21:00 会場：三条・燕地域リサーチコア 4F

ロータリー財団 BOX

9月16日現在累計

129,000円

- 外山 晴一 君 核シェルターを外山産業の駐車場に展示しました。
ご興味のある方は見学にお越し下さい。
- 長谷川千佳 君 福岡さん、先日は木菱さんと呼んで頂き感謝です。
ぜひ、又、来て頂ける日を楽しみにお待ちしております。
- 羽賀 一真 君 まちやま館長 岡葉子様、本日はよろしくお願い致します。
- 森 宏 君 まちやま館長 岡葉子様を歓迎して。
- 石黒 隆夫 君 石丸さん大変お世話になりました。ゆっくり休んで下さい。
- 渋谷 義徳 君 まちやま館長 岡葉子様の講話に感謝して。財団BOXに協力します。
- 福岡 信行 君 本日、たくさん寄付いただきありがとうございます。



米山奨学 BOX

9月16日現在累計

106,000円

- 外山 晴一 君 協力します。
- 長谷川千佳 君 前回、例会欠席しましたので…。大橋さんに協力します。
- 羽賀 一真 君 まちやま館長 岡葉子様を歓迎して。
- 森 宏 君 南ロータリークラブ田代徳太郎様を歓迎して。
- 刈岡 茂 君 石丸会員の御冥福をお祈り申し上げます。
- 石川 友意 君 BOXの席についてので協力。
- 武田 恒夫 君 まちやま館長 岡葉子様、本日はよろしくお願い致します。
- 大橋 桂子 君 私の趣味はゴルフ・釣りともう1つありまして、麻雀です。たまに賭けたりもしますが、基本ただひたすら打つのが好きなんです。最近塚野目に健康麻雀教室ができました。かけない、吸わない、のまないでひたすら打つのみです。頭の体操になりますので、最近物忘れが多くなってきた方などぜひ行ってみてください。



スマイル BOX

9月16日現在累計

289,000円

- 田代徳太郎様(三条南 RC) 日頃は、北クラブさんに記帳させて頂きお世話になっております。記帳ばかりでなく北クラブ絶品のカレーを食べてみなさいと誘って頂きメイキャップに参りました。
- 外山 晴一 君 協力します。
- 長谷川千佳 君 今日は、南クラブの田代様、ようこそ北ロータリーにお越し下さいました。ぜひ毎月来られてください。まちやま館長 岡葉子様、本日は宜しくお願い致します。
- 羽賀 一真 君 まちやま館長 岡葉子様、桜の木は順調に育っているでしょうか？



森 宏 君 石丸進さんの冥福を祈り。
 齋藤孝之輔 君 まちやま館長 岡葉子様、本日はよろしくお願い致します。
 米山 忠俊 君 三条まちやま館長 岡葉子様、卓話有り難うございます。
 武田 恒夫 君 岡葉子 まちやま館長様、よろしくお願い致します。
 星野 義男 君 田代さん久しぶりです。カレー沢山食べてください。
 石川 友意 君 岡まちやま館長様の卓話に感謝して!! 田代様を歓迎して!!
 佐藤 義英 君 まちやま館長 岡様、卓話よろしくお願いいたします。
 又、南 RC マルヨネ田代様、ごゆっくりお過ごし下さい。BOXに協力!!
 外山 裕一 君 BOXに協力。
 大野 信一 君 ロイヤルさんのカレーの美味しさに!
 松山 浩仁 君 本日は岡様、卓話よろしくお願い致します。田代様、ようこそお越し下さいました。
 どうぞ楽しんでいって下さい。
 落合 益夫 君 BOXに協力。
 石川 勝行 君 まちやま館長 岡様、本日は卓話よろしくお願い申し上げます。
 南 RC の田代さん、本日はようこそいらっしゃいませ。
 涌井 敏 君 BOXに協力。
 田崎 尚志 君 本日もご協力ありがとうございます。

本日の行事：「基本的教育と識字率向上月間」

講師紹介：松山浩仁 プログラム委員長

皆さんこんにちは、本日の講師を紹介させていただきます。三条市立図書館、栄分館・下田分館を含む館長の岡葉子様です。本日は「基本教育と識字率向上月間」ということで、館長の岡様をお願いしたところ、ご快諾いただきました。本日は、「識字率から見える日本社会の成熟と課題」をテーマにお話しいただきます。

また、岡様は、三条市歴史民俗産業資料館館長も兼任されており、一般社団法人シニア社会学会の理事、一般社団法人出版文化産業振興財団の新潟代表、新潟県生涯学習協会の幹事も務められております。では、岡様、よろしくお願いします。



「識字率から見える日本社会の成熟と課題」

三条市立図書館 館長 岡 葉子 様



はじめに～読み書きの力がつなぐ、地域と未来

「識字率」という言葉を入り口に、日本の社会や教育、そして地域のつながりについて少し深く考えてみたいと思います。読み書きができるかどうかという単純な指標に見える識字率ですが、その背景には文化、制度、人々の暮らしが深く関わっています。江戸時代から現代までの流れをたどりながら、識字が社会をどう形づけてきたのか、そして今どんな課題があるのかを見つめます。

江戸時代に芽生えた「学びの文化」

江戸時代、日本では庶民の間に「学びたい」という気持ちが広がっていました。全国に約 15,000 の寺子屋があり、武士だけでなく町人や農民、女性も通っていました。教材には生活に密着した「往来物」が使われ、読み書きや算盤など実用的な力を育んでいました。出版文化も盛んで、草双紙や仮名草紙などの娯楽読本が流行し、貸本屋も登場。

都市部では男性の識字率が 80～90%、女性でも 60～70%と推定され、当時の西洋諸国と比べても高い水準でした。識字率の向上は政策ではなく、庶民の暮らしに根づいた「学びの文化」が支えていたのです。

明治時代の近代教育制度

1872 年の「学制」発布により、小学校が全国に整備され、男女共学の 4 年制義務教育が始まりました。就学率は急速に上昇し、1920 年には 99.0%に達します。地域差はありましたが、制度の整備とともに格差も縮小。教育は近代化とともに、識字力を国民全体に広げる力となりました。

戦後から現代へ識字率ほぼ 100%の社会

戦後、教育はさらに広がり、1948 年の GHQ による識字調査では非識字者はわずか 1.7%。夜間学級や外国人支援なども進みましたが、2020 年の国勢調査では義務教育未修了者が約 90 万人いることが判明。「識字率 100%」のイメージに揺らぎが見

え始めています。それでも識字力の高さは、民主主義の成熟、経済活動の効率化、文化の豊かさに貢献しています。

現代の識字課題-見えにくい壁

近年では「形式卒業者」や「機能的非識字」が課題となっています。前者は不登校やフリースクール通学などで十分な教育を受けられていない人々、後者は文字を読めても意味を理解・活用することが難しい状態です。外国籍の子どもや戦中・戦後に教育機会を失った高齢者も含め、識字の定義を「情報を理解し、活用できる力」へと広げる必要があります。

図書館の役割-学びと地域をつなぐ拠点として

図書館は誰もが無料で情報にアクセスできる場所です。高齢者や障害のある方への支援、夜間中学や識字教室との連携、学校図書館での調べ学習やメディアリテラシー教育、大学図書館での論文作成支援など、世代を超えた学びを支えています。

三条市立図書館では、図書館機能として開放的で自由な学びで知識を得る、幅広い世代が読書と学習で学びを深めることのできる図書館として、また「ものづくり」のDNAを受け継ぐ児童生徒の科学的思考と想像力を育成する、科学教育センター機能ももっています。図書館は、単なる本の貸し出し場所ではなく、社会的な包摂と教育の拠点として、ますます重要な存在になっているのです。

三条市の実践-地域と教育のつながり

三条市は「ものづくりのまち」として、産業力を教育と結びつけ、地域の未来を担う人材育成に力を入れています。2025年には「三条キャリア教育バンク」が創設。地元企業と学校をつなぐ仕組みができ、体験学習や職業講話、工場見学などが行われています。

「三条鍛冶道場」では、子どもたちが和釘づくりを体験し、地元の伝統産業に触れる機会が提供されています。また、三条市立図書館においては「学ぶ・見る・触れる」ものづくりのまちの図書館

等複合施設として、鍛冶ミュージアム機能～鍛冶職人の「よりどころ」となり、過去から受け継がれた「今」を展示し「未来」へつなげる。更に図書館で借りることのできる「まちやま道具箱」～三条で生まれた道具や工具の貸出し、実際に道具を使うワークショップもおこなっています。図書館も地域資料の展示や職業資料などを通じて、教育と地域をつなぐ拠点として新たな活躍をしています。こうした取り組みは、教育が地域経済を支え、地域経済が教育を豊かにする「好循環モデル」と言えるのではないかと考えております。

識字率と経済の関係-見えないインフラとして

識字力が高いことで、業務指示の理解や契約書の読解が可能となり、生産性向上や消費者の安心につながります。理数系教育やITリテラシーの基盤としても重要で、技術革新を支える人材育成にも貢献します。識字力は目に見えないながらも、社会と経済を支える「見えないインフラ」なのです。

おわりに～識字は「生きる力」

識字率の背景には、庶民の学びたいという願いや、地域で支え合いながら教育を広げてきた人々の努力があります。今もなお、図書館や学校、地域の企業が手を取り合い、誰も取り残さない学びの環境づくりに取り組んでいます。

「読み書きができる社会」は、当たり前のようにいて、実はとても大切な土台です。その土台があるからこそ、情報を理解し、選択し、誰かとつながり、未来を描くことができます。これからの識字は、単なるスキルではなく、「生きる力」として、もっと広く、もっと深く育てていくものだと思います。



10月

お祝い

会員誕生日 斎藤 正、神田敬宏

(敬称略)

ご夫人誕生日 外山真智代、神田トモ子、金子節子、羽賀麻美、長谷川加奈子
田崎綾子、伊藤明子

結婚記念日 佐藤弘志・奈緒子、野崎喜嗣・優子